

発達支援センター通信

◆野洲市発達支援センター TEL587-0033、FAX587-2004

広報「やす」:令和2年9月号掲載

はったつしょう ひと かんかく 発達障がいの人と「感覚」

しんがた かんせんかくだいぼうし じゅうよう みつ さ
新型コロナウイルスの感染拡大防止のために重要なこととして、3密を避けることや
こまめな^{てあら}手洗い、そしてマスク着用^{ちやくよう}など咳エチケット^{せき}を守ることが挙げられています。し
かし、発達障がい^{はったつしょう}の人の中には、手洗い^{ひと}をすることやマスク^{なか}を着用^{てあら}することが難しい人
がいます。感覚^{かんかく}が極端^{きょくたん}に過敏^{かびん}だったり鈍感^{どんかん}だったりする、感覚^{かんかく}に偏り^{かたよ}があるタイプ^{ひと}の人
です。

しかく ちやうかく しよっかく にんげん かんかく さまざま かん かた こじん さ
視覚や聴覚、そして触覚など、人間の感覚は様々ありますが、その感じ方^{かん}には個人差^{かた}
があります。発達障がい^{はったつしょう}の人^{ひと}の感覚^{かんかく}の偏り^{かたよ}は、人^{ひと}によっては、その個人差^{こじんさ}を超えて日常^{にちじょう}
生活^{せいかつ}で支障^{ししょう}をきたすもの^ただといわれています。例えば、触覚^{しよっかく}の過敏^{かびん}さを持つ人^もの中には
は、シャワー^さが刺^{いた}されるように痛^{かん}く感じて浴^あびられなかつたり、服^{ふく}のタグ^{かんしよく}の感^た触^た
れず着^きられなかつたりする人^{ひと}がいます。他^{ほか}にも、聴覚^{ちやうかく}の過敏^{かびん}さを持つ^もているため人^{ひと}が多
い場所^{ばしょ}が苦手^{にがて}な人、視覚^{しかく}の過敏^{かびん}さを持つ^もているため蛍光灯^{けいこうとう}の光^{ひかり}が苦手^{にがて}な人、触覚^{しよっかく}
嗅覚^{きゅうかく}の偏り^{かたよ}から食^たべられるもの^{かぎ}が限^{ひと}られている人^もなど、いずれも生活^{せいかつ}の中で大き^{なか}
苦勞^{くろう}を伴^{ともな}います。また、感覚^{かんかく}が鈍感^{どんかん}な人^{ひと}の中には、痛^{いた}みに気^きづきにくく、ケガ^{けが}や病氣^{びょうき}が
重篤^{じゅうとく}な状態^{じょうたい}になってからしかわからなかつたりする人^{ひと}もいます。

かんかく かたよ も ひと しゅうい ひと にがて りかい わり すこ
こうした感覚^{かんかく}の偏り^{かたよ}を持つ人^もには、周囲^{しゅうい}の人^{ひと}がその苦手^{にがて}さを理解^{りかい}し、無理^{むり}なく少^{すこ}
でも居心地^{いごこち}が良^よくなるような工夫^{くふう}を、本人^{ほんにん}と一緒^{いっしょ}に考^{かんが}えていくことが大切^{たいせつ}です。例^{たと}えば、
りゅうすい^{りゅうすい}での手洗い^{てあら}が難^{むずか}しければ貯^ためた水^{みず}で洗^{あら}い流^{なが}すようにしたり、マスク着用^{ちやくよう}が難^{むずか}
ければ好^すきな感^{かんしよく}触^{くち}のタオル^{たうる}で口^{くち}を覆^{おお}うことも良^よいかもしれません。発達障がい^{はったつしょう}当事者^{とうじしゃ}
向^むけの本^{ほん}には、感覚^{かんかく}の違^{ちが}いへの対^{たい}処^{しよほう}法^{くふう}や工夫^くについて書^かかれているものもあるので、
ぜひ参考^{さんこう}にしてください。

さんこうぶんけん こみち けんきゅう
(参考文献) 小道モコ「あたし研究」1・2 クリエイトかもがわ